

## 第2 構成市町の特徴

### 1 津山市

本圏域の中心部である津山市は、教育機関や官公署の集積などにより、県北の広域交流拠点としての役割を担っています。人口や面積は、圏域内において最大ですが、市内においては人口の集中する地域と過疎地域の2極化が進んでいます。産業面では、産業支援センターを設立し、ステンレス産業などの金属加工業をはじめとした多様な製造業や農林業の高付加価値化、6次産業化など、新たな産業創出に取り組むとともに、津山産業・総合流通センター等の産業団地へ企業誘致が進められています。

また、市内中心部に桜名所100選に選定された津山城や津山まなびの鉄道館などの歴史文化資源を数多く有し、周辺地域には、黒木キャンプ場や広戸仙、阿波森林公園、梅の里公園等の観光・レクリエーション施設など、豊かな自然も活かした滞在型観光への取り組みを推進しています。

### 2 鏡野町

本圏域の北西部に位置し、南部は比較的緩やかな丘陵と平坦地が多く、中国自動車道院庄インターから近いことや、国道179号線、広域農道など東西南北にクロスする主要道路など交通の便に恵まれていることから、運送業などの企業集積が見られます。また、図書館や文化スポーツ施設等も整備されています。

北部は山間部に位置し、広大な面積の中、人口の減少や高齢化が進んでいます。その一方、優れた自然環境や豊かな森林資源を活かした温泉施設やスキー場、キャンプ場等のスポーツ・レクリエーション施設が整備されています。

### 3 勝央町

本圏域の東部に位置し、緩やかな丘陵地と、中央を貫流する滝川に沿って開けた自然豊かな大地で米や果樹、黒豆を生産する農業が基幹産業のまちです。

また、出雲街道等の歴史資産や、おかやまファーマーズ・マーケット ノースヴィレッジなど、観光スポットも整備されています。

そして、交通の便に恵まれ、工業団地への企業集積も進行しています。近年、文化施設（文化ホール・図書館・美術文学館）が整備され、町民の集いや文化活動の拠り所になっていて、農業と工業と自然と文化が調和したまちとして発展しています。

#### 4 奈義町

本圏域の北東部に位置し、自然と伝統芸能等の宝庫であり、今後とも大切に守っていくとともに、水源地域として森林保全や環境整備、地域振興にも取り組んでいます。

また、安全で快適に暮らすことができるよう居住環境の整備や豊かで特色のある歴史・文化・観光資源の活用、ネットワーク化を進めるとともに、本圏域中心部を結ぶ幹線道路網の整備や観光、レクリエーションエリアの拡大や通勤圏の拡大、そして子育て支援の充実による定住人口の確保と交流人口の増加に取り組んでいます。

#### 5 久米南町

本圏域の最南端部に位置し、人口の減少や高齢化が進んでいます。県南地域と津山市の中間にあることから、国道53号沿線で良好な環境を有する宅地分譲やスポーツ・文化施設などの整備を行っています。中でも、交通の便を生かして整備された「道の駅くめなん」は、地元農産物の販売などにより多くの利用者でにぎわっています。

また、棚田やぶどう畑などがある山間部の自然環境活用型レクリエーション施設や研修施設の整備をはじめ、若者定住促進住宅の建築や空き家改修助成制度などにより、交流人口の増加を目指した定住促進施策を進めています。

#### 6 美咲町

本圏域の南部に位置し、県の3大河川のうち、旭川・吉井川が流れています。人口の減少や高齢化が進んでいますが、良好な自然環境や津山市とのアクセスから本圏域のベッドタウンとしての地理的条件も整っています。

定住促進を最重点課題として掲げ、子育てしやすい環境づくりに取り組むとともに、住宅団地の整備や空き家の有効活用など住環境の整備をはじめ、教育の充実にも力を入れています。また、緑化公園やエイコンパークのような運動公園等を活かし、自然環境活用型のスポーツ・レクリエーションを取り入れながら、健康で生き生きとした生活を送ることができる地域づくりを進めています。